



## 相場情報 《今後価格動向要注意商品》

区分	商品	相場動向	相場状況
食品	ヤングコーン	タイ産現地工場により不作、極品薄。メーカーにより年明けまで休売。	↑
食品	中国産みかん缶	メーカーにより新物まで極品薄、新規回避が無難。	
食品	中国うずら缶	極品薄継続。	
食品	メンマ	価格上昇。	↑
食品	栗甘露煮	中国産栗は品薄。	
冷食	輸入鶏肉(BRZ)	23年1月入船のコストが大幅に下がり 肉屋各社国内の在庫を減らしたい意向から弱含み。	↓
冷食	輸入豚肉	カラー・肩ロースが品薄状態。	↑
冷食	輸入牛肉	ショートプレートの価格が下落していたが反転。上昇の兆し有り。	↑
冷食	USポテト	23年2-3月頃に再度価格改定実施の見込み。アメリカでの製造コスト上昇とインフレの影響。	↑
冷食	オニオンソテー	国産・中国産ともに23年2月頃に値上げ。原料減産・製造コスト上昇が主な要因。 ※割り当て販売。	↑
冷食	野菜ピューレ	23年2月頃に全般的に価格改定。特にトマト原料品はタイトな状況が続く様子。 ※商品によっては割り当て販売。	↑
冷食	輸入凍菜品全般	23年1月から2月にかけて輸入凍菜品全般に価格改定。為替変動が要因。	↑
酒	全般(飲用・酒類調味料)	原料アルコール、糖類の値上がり、円安を要因とする製品値上げ。	↑
NF	アルコール製剤	原料となる粗留アルコールの高止まりにより 製品のアルコール製剤の値上がり。	↑
野菜	輸入果物・輸入野菜	輸入品に関しては為替が大きく影響する為、現時点では上昇基調。 柑橘系は一部端境期で価格ではなく味があまり良くない。	→
野菜	輸入加工澱粉	海上運賃、為替影響で値上がり。穀物の世界的な品薄状況により、 馬鈴薯、タピオカ、サゴなど原料を問わず来年より価格改定予定。	↑
特販	国産馬鈴薯澱粉	令和4年産への端境、収穫減で品薄状況。3年産から4年産への繰越は発生せず。 収穫状況によっては割振の可能性あり。来年より価格改定予定。 (品薄、新物割当数は11月下旬頃決定。最悪、割振りの可能性あり。)	↑
特販	砂糖	DM三井が9月キロ12円値上に続き今年12月よりキロ更に6円の値上を発表。 特約により改定時期未定や来年1月改定予定となっている。 海外粗糖相場の高止まりに加えての急激な円安が要因。	↑
特販	鶏卵	飼料価格の高騰、鳥インフルエンザの影響で相場上昇。年末にかけ不足している状況。	↑